

楊弓具

治スルハ、ソノ一人ノヲケノ見エタル也、何ヤラシラズニ直リタルハ、拍子ニテ中リタル楊弓也、サレホドニ直ラヌ譯ケモ、合點エカヌ筈也、サテサテアリガタキ仰テ承テ、數十年來ノ惑ヒトケテ、剩ヘ此譯ヲ知リ徹リ、此タキ一念起レリ、今マデハ生ヲ易タリトモ、知ルマシト思ヒシガ、何トゾ古、今ノ事歴ヲ經ル中ニ、此一筋ノ譯ダケダニ見出シタラバ此ハ見エ、コレハ見エヌホドノ位ニ、ニアラズト工夫ス、

〔和漢三才圖會^{十七}〕楊弓

楊弓未詳其始、貴賤每射之賭勝劣、遊戯之具、其弓以楊柳作之故名、近年用蘇方、華欄紫檀等、多繼弓、

〔雍州府志^七〕楊弓^略

凡弓本懸弦所謂本筈、長二寸、是表牽牛織女之二星、其弓末插弦所謂裏

筈、其長二寸八分、表二十八宿之星、其餘亦滑稽爲文、

〔楊弓射禮蓬矢抄〕凡弓者象二十八宿、以二尺八寸爲長、裏弭九分者表九曜星、本弭二分者象牽牛織

女、弦則織女之機糸也、附長三寸七分者表三秋七日之數、弓者以楊作之、蓋夫後世人好美色、以蘇枋

或花欄紫檀等削之、

凡藤者以細爲善、或以樺卷之、

凡弣者以金欄緞子裹之、或以金鮫魚鮫等裹之亦佳也、以金銀鹿角等爲豎橫飾、

凡弦者可用琵琶三四絃、間若捻弦則以生糸分四分合之、以糊練之、可引梔子也、

凡囊者唐綾蜀錦緞子金欄隨所好縫之、其長三尺五寸、橫之廣可爲三寸、縫目可用臥組、以丸緒爲緒、

近代多以紅線組爲緒、

〔楊弓射禮蓬矢抄追考〕道具の事

一弓 蘇枋の目のつまりたる節なき木にて削べし、むかふ直に前丸みを付て削る、是予^{○今井}

が流也、弓あまりつよきは手前りきむゆへに癖出來てあたらず、引五寸五分より六寸二三分の

間、人々のこのむところにてまたがふべし、曲弓あり、張弓あり、望みにまかすべし、弓の長は本末の

筈をのけて二尺八寸なり、